



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail: wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



ワシントン日本語学校事務局
HOT LINE (301)962-7415
Phone (301)962-7410
FAX (301)962-7411

ワシントン日本語学校に 通うことの意義

校長 三原 洋一

街はハロウィンの装飾で賑わい、木々の紅葉が進み、美しい秋の風景が広がっています。この時期の街の美しさには目を奪われます。しっかりとその光景を心に刻んでおきたいと思います。

さて、先週の年次総会では短い時間ではありましたが、授業改善の取り組みや読書活動の推進、そして魅力ある学校づくりについてお話しさせていただきました。

また、今回は「グローバルな人材育成の拠点として」の補習授業校に通う意義についても少し触れました。



補習授業校に通う目的は、ご家庭や生徒によって異なるかもしれませんが、日本語で学ぶことに意義を感じておられるのは確かだと

思います。本校に通う540人の生徒にとって、その意義はいくつかあります。



まずは「日本語の維持と向上」です。本校は、日本語を母語または第二言語として学ぶ子どもたちにとって、言語スキルを維持・向上させる貴重な場です。アメリカでの生活において、補習校で定期的に日本語を使うことで、言語のバランスを保つことができます。

次に、「日本の教育内容に触れる機会の提供」です。本校では、日本の学習指導要領に基づいた授業を行っており、日本の教育システムに触れることができます。これにより、日本へ帰国する際にもスムーズに学校生活に適應できるだけでなく、グローバルな視野を持ちながら日本の文化や知識を深めることが可能です。

さらに、「アイデンティティの確立」



を支援することも本校の大きな役割です。アメリカに住む子どもたちは、複数の文化に触れる中で自分のアイデンティティを見つける課題に直面することがあります。本校は、日本文化や価値観を学ぶ場であり、「日本人である」という意識を育み、アイデンティティ形成をサポートしています。

また、「同じバックグラウンドをもつ仲間との交流」も大きな魅力です。本校では、4歳から17歳までの幅広い年齢層の子どもたちが、日本語を学び、日本文化に触れながら共通の経験を持つ仲間と交流できる環境があります。同じ背景をもつ仲間同士で支え合うことができます。



これらの意義を踏まえると、本校は将来に向けたグローバルな人材の基盤を築く重要な場であると自負しています。

とはいえ、日本語学習の重要性を理解していても、月曜日から金曜日まで現地校に通いながら日本語学校で学ぶ二重の教育を両立するのは大変です。学年が上がるにつれて現地校や日本語学校の学習内容はますます難しくなり、課外活動に励む生徒も増えています。子どもたちは非常に忙しい日々を送っていることでしょう。本校の生徒や保護者の皆さまは、本当によく頑張っておられます。厳しい状況とは思いますが、学校と「共働」しながら、この学びを一緒に支えていただきたいと思います。

運動会の絵・感想文紹介②

今週も、運動会の生徒の絵や感想文を紹介します。

○小学部4年 高野 木歩さん

先週、私たちは運動会を行いました。私は赤組でした。昨年勝ったので、今年も勝ちたいと、期待にむねをふくらませたものの、「赤は強いから。」とゆだんしたのでしょうか。あっさりと負けてしまいました。昼食後のおうえんがっせんも負けてしまいました。おうえんがっせんは私にとって本当に勇気をもらって、一番好きなパートでした。

また、高学年による二人三脚やつな引き、または、勇気をもらったおうえんがっせんは、力強く、でも、自分たちだけではなくて、白組もがんばれという気持ちが、今にも声に出てしまいそうでした。

今年は、負けてくやしかったはずなのに、なぜかもっとがんばりたいという気持ちのほうが大きいです。

○小学部4年 ソラー 旭さん

ぼくが一番運動会で印象に残ったのは、優勝したこと。点数が発表された時、ぼくの心はどきどきしました。点数が目に入った時、白組から大歓声が聞こえてくる。ぼくの中で、「勝ったぞう！」と、なんかいもなんかいもさけんでいました。

二番目に印象に残ったのは、かけっこです。最初にぼくは、フライングしたけど、次の時、ぼくは、すべっておくれたけど、ぼくは前だけを見て、まっすぐに進むと、ぼくが一番でした。ぼくは、うれしくてさけびたかったです。ぼくは、来年にはリレーせんしゅになりたいです。

○小学部4年 唐沢 響希さん

「ぼくは、白組がいやだ。」なぜなら、いつも負けていたからだ。でも、今年はちがった。ぼくは、タイヤ取りをがんばった。ひきずられても、めがねが取

るほどおうえんをした。そして、8年ぶりに白組がやっと勝てたのです。白組がやっと勝ってとてもうれしかったです。でも、赤組はどういう気もちなんだろう。

○小学部5年 清水 駿佑さん

雨にも負けず力を合わせて！

雨が降り続いて運動会ができるか心配していたけど、当日できると連絡がきて、ぼくは飛び上がりました。ぼくは、張り切って、赤い服を着て、はちまきをきつく結びました。

一番たのしかったのは大玉はこびです。チームの人数が合わなかったので、ぼくが二回はこぶことになりました。一回目は、ぼくのせなかに大玉をのせて出発しました。大玉は想像よりも大きくてびっくりしました。重くてバランスを取るのが大変で、何度か落としてしまいました。だけど、チームで声をかけあって心をついにゴールを目指しました。二回目は作戦変こうです。大玉がどろどろですべりやすかったので、下から上におみこしのようにもち上げました。しかし、雨の地面でぬれた大玉は、ツルツルすべって転がっていつてしまいました。みんなで、追いかけて、あきらめずに最後まで運びきりました。

ぼくは、背中も靴もドロドロになりましたが、晴れやかな気持ちになりました。来年は、どの作戦でいこうかな？今から楽しみです。



○小学部5年 パトリック 歩陽さん

運動会の思い出

ぼくは、今年運動会で白組でした。赤組は八年連続勝っていたと聞いたので、今年は、白組が勝てるのかなと思って不安でした。

運動会のはじめのプログラムで、白組の幼稚園は、かけっこで、すでに負けていたので、もっと心配になりました。

つぎは、大玉運びでした。この競技でぼくのチームは、大玉を五、六回落としてしまったので、白組の足を引っばってしまった気がして、焦りました。

そのあと、ぼくの苦手な短距離走が始まりました。緊張して、手から汗がでくらいだったけど、驚いた事に、ぼくは、二位になりました。予想外の結果で嬉しかったし、白組の役に立てたと思いました。

それから、綱引きをして、白組の保護者たちは負けてしまったけど、男子と女子は勝ったので、ぼくは白組が勝てる可能性がまだあると思いました。

やっと閉会式が始まって、点数が発表されました。白組が740対625で勝ったと分かったとき、友達と肩を組み合って雄叫びを上げて大喜びしました。

来年の運動会が待ち遠しいです。

○小学部6年 吉田 怜さん

今年は、地面がドロドロでしたが、運動会ができてとてもうれしかったです。とくに、大玉運びが楽しかったです。小1・2年の大玉転がしの後だったので、大玉はとてもドロドロでしたが、みんなで力を合わせて、大玉を運ぶのが、この競技の楽しいところだと思いました。

今年も私は白組でした。8年ぶりに勝てて、勝ったしゅん間は、何が起きているか分かりませんでした。白組が勝ったと分かったから、友達とぴよんぴよんはねながらよろこびました。

また、来年も勝ちたいです！！！！



○小学部6年 中村 理希さん

僕がこの運動会で心に残った出来事は、大きく分けて三つあります。

一つ目は、大玉運びです。なぜなら、僕は、日本語学校での運動会は初めてなのですが、チームのみんなと力を合わせ大玉運びをやり切れたことをうれしいなと思いました。

二つ目は、徒競走です。リレー選手の人には勝てませんでしたが、日本では三位ほどだったのに、二位になることができてとても楽しかったです。

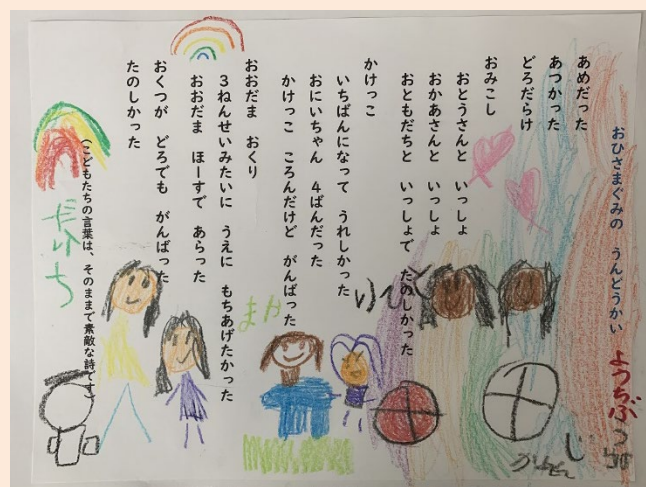
最後は、リレーです。僕はリレー選手になることができませんでしたが、僕のクラスの A さんや同じ学年のNさんなどが、がんばっている姿を見て、来年はやってみたいなと思いました。

このように、僕は日本語学校で、最初の運動会でしたが、とても楽しむことができました。運動会を手伝ってくれた人たちのおかげだと思います。

来年も楽しんで運動会をやれたらと思います。



○幼稚部おひさま組



11月の行事予定

- 2日 授業参観日①
- 9日 授業参観日②
転入学説明会・面接
- 16日 授業参観日③
中学部進学説明会
(小6対象)
- 23日 高等部進学説明会
(中3対象)
- 30日 感謝祭(休業日)

